



XIB HR ガバナンス・リーダーズ 共催ウェビナー

ESG、サステナブル経営と CxO

2050年カーボンニュートラル宣言を行なった菅政権から、岸田政権に至る過程で、DXと並び、SX（サステナビリティトランスフォーメーション）または、GX（グリーントランスフォーメーション）は、国の成長政策の要の一つになりつつあります。グローバルなゲームチェンジの中、持続的な成長に向け、企業としても、資本市場に向けて、戦略的な長期の価値創造ストーリーを提示することが求められています。

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）開示の拡大や、内閣府令の改正により、気候変動や人的資本活用など非財務情報開示の規制環境も整備されつつあります。こうした中、CEOは、サステナブル経営をリードし、CFOは、ESG投資家とのエンゲージメントや情報開示を進め、CSOは、長期経営戦略に基づく、事業ポートフォリオの転換を推進していくなどのミッションがクローズアップされています。企業には、これらを統合し、経営戦略と合致したESG対応をドライブするサステナビリティガバナンスの構築が求めているといえるでしょう。

本セミナーでは、投資家の求めるESGの本質などを議論しながら、サステナブル経営の実現に向け、重要な役割を担う企業のM&A等を管掌する部門が共有すべき現状認識と課題について、解説いたします。

日時 2023年4月19日（水）16時～17時15分

場所 Microsoft Teams を使用したヴァーチャルセミナー（ウェビナー）形式で実施します。
参加費は無料です。

講師 後藤 英樹

（HR ガバナンス・リーダーズ株式会社
サステナビリティガバナンス部 フェロー）

企業財務全般を日本IBMなどで経験後、S&Pを経て、メリルリンチ、ドイツ証券、金融戦略部長を務めたゴールドマンサックス証券にて、クレジットアナリスト、CFOアドバイザーに従事。2013年、クレアンにて、ESGアドバイザーを立上げ、本邦初のアナリスト向けESG説明会、マテリアリティ策定、CSR経営・統合報告支援など、各種プロジェクトを担当。トーマツのマネージングディレクターなどを経て現職。環境省「グリーン投資促進のための市場創出・活性化検討会」委員等を歴任。一般社団法人環境金融研究機構（RIEF）顧問

お申込み 本セミナーにお申込みを希望される方は、下記担当者までお知らせください。

担当 : 原田 透 (XIB マネージングディレクター)

連絡先 : toru.harada@xibcapital.com / 03-6259-1156